

国立がん研究センター東病院との ハイレゾ自然音の癒し効果に関する共同研究論文を発表

株式会社JVCケンウッドは、国立研究開発法人国立がん研究センター東病院（千葉県柏市、以下「国立がん研究センター東病院」）との共同研究において、可聴領域外の音源を含むハイレゾ自然音（以下、「ハイレゾ自然音」）が、緩和ケア病棟に入院中の進行がん患者さんの癒しと身体症状が緩和する可能性があることを示唆する研究結果の論文を発表しました。

本研究は、国立がん研究センター東病院 緩和ケア病棟に入院中の進行がん患者さんを対象に、当社が収録・編集したハイレゾ自然音を、当社の音響システムで再生し、緩和ケアの効果を探索的に検討したものです。その結果、ハイレゾ自然音を用いた緩和ケアを受けた患者さんは、日藝版「癒し評価スケール」でのスコアが向上し、だるさ、息苦しさ、不安などの身体症状が緩和されたことが示唆されました。また、約7割の患者さんが治療開始前後の全体的な状態の改善、約半数の患者さんが睡眠の改善を自覚し、心拍変動の分析ではLF/HF^{※1}の減少が認められました。

※1：自律神経機能の評価指標で、安静な状態では 2.0 未満、日常の安静時では 2～3、副交感神経活動が抑制または交感神経活動の興奮状態では 4.0 以上の値が目安となります。

<下津浦康隆先生（本研究主発表者 国立がん研究センター東病院 緩和医療科^{※2}）のコメント>

ハイレゾ自然音を用いた緩和ケアは、患者さんに不快感を与えることなく、30分の短期間でも効果が示唆されたことから、緩和ケア病棟での癒し環境を提供できる可能性があると考えます。

※2：本研究実施時の所属

<今後の取り組み>

当社は、本研究の結果を踏まえ、緩和ケア病棟におけるより具体的な研究へのハイレゾ自然音の提供などを継続していきます。また、より多くの患者さんが癒しと症状の緩和を得られるよう、ハイレゾ自然音の新たな活用方法の開発に取り組んでいきます。

◇本研究の概要は下記URLをご参照ください。

<https://www.jvckenwood.com/jp/business/koone/news/2025/0529-01/>

◇論文の詳細内容は下記URLをご参照ください。

<https://www.liebertpub.com/doi/10.1089/pmr.2024.0089>

本件に関するお問い合わせ先

【営業窓口】株式会社 JVCケンウッド メディア事業部 直販営業部 開発推進グループ

E-mail: KOONE_INFO_JKC@jvckenwood.com

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目 12 番地

本資料の内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。